

はれと

Palette

2

2023 February
vol.270

特集 女性部活動をご紹介します

農を担う
コマツナ農家 難波孝光 さん
小串地区……10ページ

今月の折り込み 2023年カタログショッピングチラシ ほか

特集
女性部活動をご紹介します

活動内容を紹介①

● 各支部自慢の加工品づくり



テンペづくり



味噌づくり

● 健康維持増進のための体操教室



タオルを使った体操



レインボー体操

● 部員間の絆を深める寄せ植え教室



寄せ植えと女性部員ら



寄せ植え教室

JA女性部ってどんな組織？

明るく豊かな地域社会を築くため、JAをよりどころとして、食や農、くらしに関心のある女性が集まって活動する組合員組織です。

誰でも気軽に参加でき、メンバーは20～90代まで幅広い世代の人がいます。

主に食農教育や地産地消にかかわる活動、料理や手芸などの生活文化活動、体操教室や健診などの健康増進活動、環境保全活動などに取り組んでいます。

また、特に若い世代（おおむね45歳くらいまで）の組織として、「フレッシュミズ（フレミズ）」があります。食や農業に関心のある女性が集まり、農業技術の習得、農産物の加工、親子での農業体験、料理教室やスポーツ、手芸などの様々な活動をそれぞれの地域で行っています。

※右写真：
ミニクッキング
フェスタの様子



女性部長からのあいさつ



JA岡山女性部 部長 河内恵子

私たちJA岡山女性部は、地域20支部にわたり2,489名の部員で活動を行っています。地域のイベントや食育活動にも積極的に参加し、様々な教室や旅行等を通じて部員の交流を図っています。自らはもちろん、地域におけるしあわせの輪を広げる活動「笑顔あふれる女性部組織」を目指しています。

女性部とSDGsの関わり

JA女性部は、SDGs(持続可能な開発目標)を「女性組織の活動そのもの」と位置付けて学び、実践しています。

具体的には、地産地消を掲げて味噌やばら寿司、おこわなど数十種類の加工品を農産物直売所や地域のイベントで取り扱っています。これは、目標12「つくる責任 つかう責任」に該当し「持続可能な生産消費形態を確保する」ことを目指しています。

他にも、目標3「すべての人に健康と福祉を」を目指し、健康づくりに向けた体操教室や介護予防活動に取り組むほか、ペットボトルキャップを集めてワクチンを寄付するなどの活動を行っています。



活動内容を紹介②

●「家の光」記事を活用した手芸教室



アクリルたわしづくり



ブルーベリーで染めました

● 部員間の交流を深める研修旅行



小豆島 オリーブ園



犬島 精錬所美術館

● 親子で食農体験



タマネギを収穫しました



親子で料理教室

女性部に参加するには

JA岡山女性部は各支部によって、今回紹介した活動だけではなく、さまざまな活動を行っています。

自分たちのしたいことを、自分たちが主役となり、楽しく交流し、そして学びあっていく組織です。

少しでも気になった方は、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。
食と農、くらしを豊かにする活動を一緒にしてみませんか？

お問い合わせ先

JA岡山 経済部 生活課(女性部事務局)
TEL: 086-225-3231 まで

面積拡大を目指しながら、 新たなことに挑戦していきたい

難波 孝光さん

小串地区：コマツナ農家

「なんば たかみつ」

平成5年生まれ。㊔軟弱野菜部会。コマツナを経営。趣味はサッカー観戦。好きな言葉は「自由」。



―農業を始めてからは

小串地区ではコマツナの生産が盛んであったことや、1年中ハウスで収穫が見込めることから、栽培を決めました。就農1年目は、コマツナの栽培と並行して三徳園の社会人農研修生の野菜コースに1年間通いました。現在は就農2年目で、はじめに自分で設置した4棟のハウスに加えて、7棟のハウスを新設し、11棟のハウスで、年間5〜6回のサイクルで収穫しています。市場出荷の他、イオン岡山とイオン青江のJA岡山直売コーナー、はなやか中央店にも出荷しています。

―楽しいことは

順調に育ったコマツナを収穫したときや、出荷して売れたときが楽しいです。特に9月、10月は、露地物も少なく、コマツナの出荷が少ないことから、需要が高まるので、やりがいを感じます。

―難しいことは

夏の栽培は、難しいです。遮光ネットをかけたりと工夫を凝らしても、発芽しないことがあり、自然環境の影響を強く受けると実感

しています。

―栽培上でのこだわりは

堆肥やもみガラ等を入れ土づくりに力を入れることと、有機物を原料とした有機肥料を主体に施肥しています。1年前と比べると、収量が増え、鮮度が高く棚持ちもよくなりました。

また、土地や季節に合わせた品種を栽培し、株間を広くとり、大きくなった際に全ての葉に日が当たるよう工夫しています。

新たなことに 挑戦していく

―今後の抱負は

栽培面積を増やしながら、新たなことに挑戦していきたいです。根菜類の栽培にも興味があり、いずれは着手していきたいです。

また現在は、ほとんど1人で作業しているので、1日農業バイトのアプリを活用し人手を募集して、円滑な農業経営を実践していきたいです。

聞き手…JA岡山広報担当



農業について思いを話す難波さん

12月15日、小串地区の難波孝光さんにお話を伺いました。

10代のころから 農業に興味を抱く

―就農したきっかけは

10代のころから、漠然といつか農業をやってみたいという思いがありました。一般企業に就職後、しばらくしてから週末に藤田地区で田植えの手伝いに行くようになり、翌年には同地区でタマネギ生産の忙しい時期に手伝いに通いました。そこで得た経験から、就農する決意を固めて本格的に準備を始めました。知人の紹介で、自宅から通える距離で土地を借り、1年前に就農しました。



コマツナの収穫の様子



コマツナを袋詰めする様子

野菜

ジャガイモについてご紹介いたします



営農部指導課 祇園 将人

◎ジャガイモの栽培について

ジャガイモは、北海道から九州まで栽培されている野菜です。岡山県南部では、春・秋と年に2回栽培が可能です。

ジャガイモの主な品種は、粘質系のメークインやデジマ、粉質系の男爵やアンデス赤があります。粉質系のは料理するときに早く火が通りますが、おでんのように長時間煮込むと煮崩れしてしまいます。用途によって使い分けましょう。また、デジマやアンデス赤は休眠期が短いので春作だけでなく秋作にも適しています。

●畑の準備

植え付けの2週間以上前に、10平方メートルあたり堆肥を約20[㍥]、石灰を約500[㍥]施用し、深く耕します。ジャ

ガイモは未熟堆肥や石灰を多く施用するとイモの肌が汚くなるそうか病（資料1）が発生しやすくなるので注意が必要です。前作で多用している場合は施用量を減らしましょう。

●種イモの準備

10平方メートルで栽培する場合、種イモは約2[㍥]必要になります。植え付け前に一切れが30[㍥]50[㍥]になるように切断します。その時に注意するのは、ジャガイモは芽が集中して多い部分がありますが、その部分の芽が発芽率が優れるので、芽が集中している所を切り分けるように切断します（資料2）。その後切り口が乾くまで陰干しをします。

●植え付け

畝幅約70[㍥]で株間25[㍥]30[㍥]で植え付けます。株間を広くすると大きなイモが、狭くすると数が多くつくようになります。畝の真ん中に約8[㍥]の溝を掘り、種イモを植え付け、覆土していきます。春作では覆土の上にJA岡山専用有機肥料等を10平方メートルあたり約1[㍥]施用します。秋作では高温時を避けた朝夕に植え付け（腐敗防止）、栽培中に温度が下がっていくので施用量を2割程度増やしてください。

●土寄せ・追肥

草丈が20[㍥]程度になると1回目の土寄せを行い、その2週間後にもう一度行います。ここで土寄せが不充

分だとイモが緑化します。小さいものが土に隠れてしまっても構わないのでしっかりと土寄せします。同時に除草も行いましょう。1回目の土寄せが追肥のタイミングになるので10平方メートルあたりJA岡山専用有機肥料等を約500[㍥]施用します。

●収穫・貯蔵

下葉の方が黄化してきた6月中旬（秋作では12月中旬）が収穫適期となります。春作は高温時の収穫になるので掘ったら早めに拾いこみ、直射日光を避けて涼しい所に運びまし

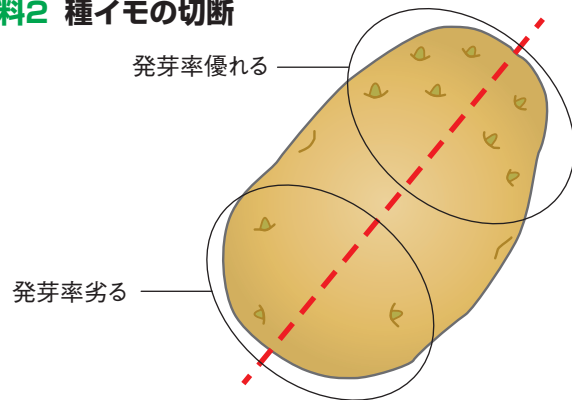
資料1 そうか病



う。早掘りすると皮がむけやすいので収穫して10日程度経ってからイモから土を落としましょう。春作は収穫が遅れると腐敗しやすくなり、秋作は年を越えて収穫すると料理中に火がとりにくくなるので適期に収穫しましょう。

収穫後は光の当たらない涼しい納屋に薄く広げて乾燥してから寒冷紗等を被せて貯蔵します。光が当たるとイモが緑化したり、春作ではジャガイモガの幼虫の被害を受けやすくなるので気を付けましょう。

資料2 種イモの切断



花き

大切な松の木
元気ですか



営農部指導課 中川 雄一

松の葉がおかしい、元気がないといったご相談が時々あります。私たちになじみの深い松には多くの病害虫があることが分かっています。その中から、いちばん心配なマツクイムシ、主に葉に付く病害などの概要と対策です。

その前に松にも花言葉があります。日本の花言葉は「不老長寿」。

ちなみに、英語では「パイン」、松ぼっくりに似た実の果物がパイナップル（パイン・アップル）です。

世界一長寿とされる樹木も北米の高山に自生する「プリストルコーンパイン」最高樹齢4700歳です。

葉に付く病気がいくつかあります。見分けにくいものですが特徴を示します。

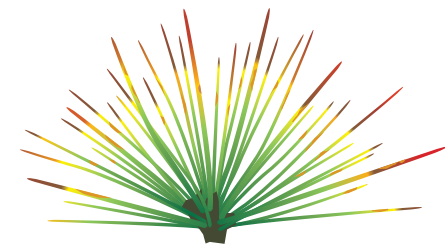
●赤斑葉枯病

今年伸びた葉に、9月ごろから小さな褐色の斑点ができ、やがて暗赤褐色の病斑になり、春には黒点が出て胞子が出ます。2年生の葉は病斑部から枯れます（資料3）。

●すす葉枯病

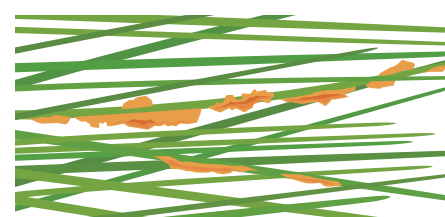
5[㍥]6月ごろ、葉の先から赤褐変が見られ、葉の先端から中程にかけて灰褐色に枯れます。健全な部分と

資料3 葉の病害 特徴的な症状



赤斑葉枯病（冬を経過し、赤褐色の斑点に）

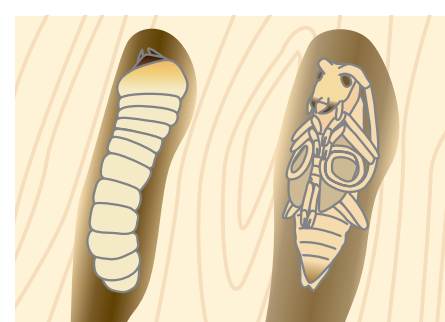
資料4 葉さび病（袋状の突起）



資料5 マツノマダラカミキリ成虫



資料6 マツノマダラカミキリ（樹の中の幼虫、蛹）



の境目がはっきりしており、これも枯れている部分に黒い小粒点ができます。根の発達不良や大気汚染も発生しやすくなる原因とも言われます。

●葉ふるい病

7[㍥]9月ごろから、新しい葉に褐色の斑点ができます。冬にかけては症状が進まず、翌春急に灰褐色に枯れて落葉します。落葉には黒い横縞が入り、その間に楕円形の病斑があります。横縞は無いこともあります。

●葉さび病

4[㍥]5月、葉に小さな黄橙く橙赤色の袋状の突起物ができ、連なることもあります。やがて袋の表皮が破れて胞子が飛散します。葉はしだいに生氣を失い灰白色に枯れます。この病原菌は松以外にも寄生し、それも駆除する必要があります（資料4）。

◎対策

いずれも病原はカビで、発生しにくい環境づくりと樹勢を保つこと、予防が大切です。まず、適度なせん定をして風通しをよくします。刈り込みすぎると樹勢低下に繋がります。

す。松は土壌も通気性のよい環境を好みますから、排水溝を付けるなど周辺の排水対策をしたうえで、地表を覆うコケも取り除きます。冬の間に石灰硫黄合剤でハダニ類の防除をすると、同時に病害抑制効果が期待できます。発病の場合は、落葉を集めて焼却か埋却しておきましょう。

発生後に薬剤散布しても治療はできませんが、健全部に広げないために散布しましょう。キノンドー水和剤40、ドウグリン水和剤などの銅水和剤やペンコゼブ水和剤などが使用可能です（使用前に濃度や使用回数を確認してください）。

●マツクイムシ（松枯れ）

葉が枯れる病害では木が枯れることは希ですが、松枯れは深刻です。元気がなくなった樹の葉のツヤが失われ生気がない様子になり、弱った枝を折ってもヤニが出ない等の状態になると、薬剤注入などの手を打っても回復しないことが多いので、相手を知って事前の対策をとることが必要です。

◎発生時の仕組み（資料5、6）
松枯れにはマツノマダラカミキリと

マツノザイセンチュウの2種類が関わっています。その仕組みは
①カミキリの成虫が春から夏、松の若い枝をかじり、カミキリに着いていたセンチュウがキズから侵入します。
②センチュウが松の樹皮の下（水や養分を運ぶ大切な組織）で増殖、次第に松を弱らせます。
③弱ったり枯れたりした松にカミキリが産卵し、孵化幼虫は松の組織を食べて生育、樹の中で越冬します。
④翌年成虫になって飛び出すときにはセンチュウが体に着いていきます。
①[㍥]④を繰り返して拡大します。

◎対策

①6月ごろから飛来するマツノマダラカミキリの成虫をスミパイン（乳）、マツグリーン（液）等の散布で駆除する。

②貴重な樹では健全なうちに幹にマツガードなどの殺虫剤を注入することがありますが、樹にもダメージがあるようです。

③発生源になる枯れた松を早期に切り倒し、焼却、または殺虫剤処理して被害の拡大を防ぎます（カミキリの成虫が発生しないうちに行います）。

ブドウは2月に本せん定を行います



営農部指導課 武田 祐一

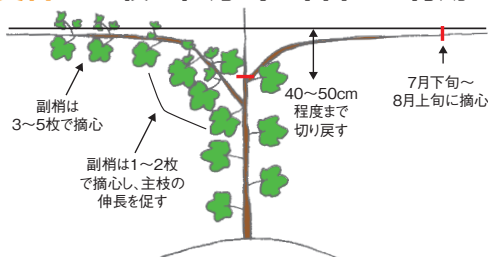
ブドウは2月中旬には樹液の流動が起るため、2月に入り次第本せん定を行います。

ブドウのせん定

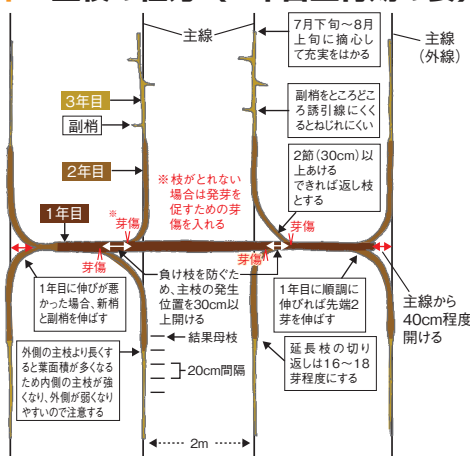
ブドウの短梢せん定平行整枝法

苗木を植えて1年目は、勢いのよい新梢を支柱に誘引しながら上へ伸ばしていきます。棚下約40〜50%の所で一旦、摘心します。摘心箇所より下の2本の副梢（摘心することで同等の勢いの新梢を左右に伸ばし、棚下へ誘引します。外線に向かって誘引した枝は、7月下旬〜8月上旬に摘心して枝を充実させます。副梢を多く残すと過繁茂となり、延長枝が太く扁平になって、翌年の発芽が劣って枝が不揃いになるので、延長枝の本葉以外の副梢全て2〜3枚残して摘心します。2月の冬季せん定では7月中旬までに伸ばした部分まで切り戻します（資料7）。

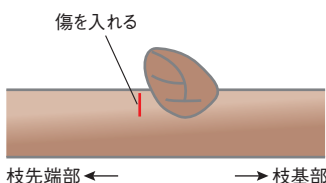
資料7 整枝の仕方（1年目の生育期の姿）



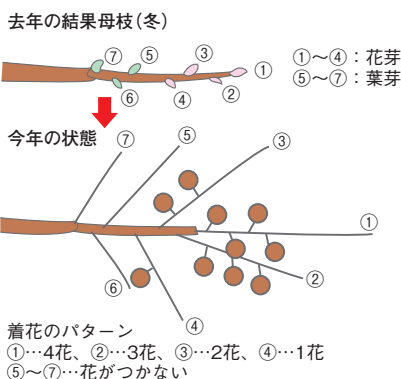
資料8 整枝の仕方（3年目生育期の姿）



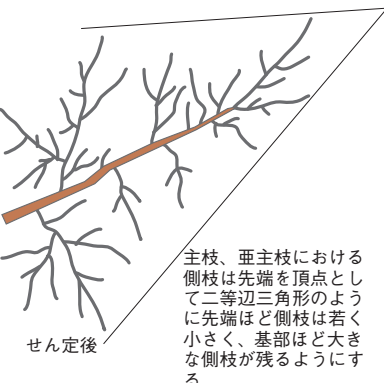
資料9 ブドウの芽傷



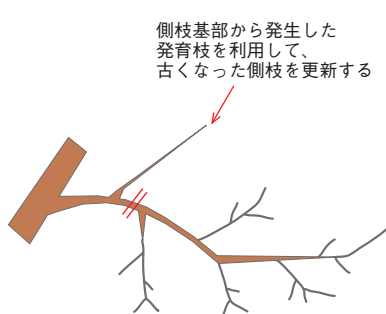
資料10 柿の結果習性



資料11 側枝のせん定



資料12 側枝の更新



●整枝の形

一般的なWH型整枝（資料8）について説明します。2年目は、主枝の側面から発生する新梢を、主線に誘引し、主枝延長枝にします。主枝延長枝は、冬季に通常は15節を残して切り戻しますが、太い場合は、16〜18節まで切り戻して使っても構いません。延長枝が親枝以上に太り過ぎる場合は翌年の結果枝確保のため、せん定直後の芽の先3〜5節の所（芽と並行）に金切りノコや芽傷バサミで形成層の深さまで芽傷を入れることで結果枝を確保します（資料9）。逆に細い場合は、太い節まで切り戻して出し直した方がよいです。

主枝延長枝を長く残し過ぎると枝ごとの勢力差が強くなったり、先端は枝がふいても基に近いうちは枝が飛んだりして、翌年の結果母枝の確保が難しくなります。3年目は、ブドウが初結実するので、小指以上の太さの枝に結実させます。結果枝のせん定は、結果枝の基部の上昇を防ぐため、1芽せん定とします。整枝の方法は資料8を参照。

●二 柿のせん定

●柿の品種特性

○富有柿は完全甘柿で豊産性ですが、着果過多になると隔年結果します。樹勢はやや強く、開張し易いので開心自然形で管理します。○西条柿は、完全渋柿で「あわし柿」「干し柿（吊し柿）」「熟柿」に向きます。強樹勢で樹姿は直立性で太木になります。渋柿は、変則主幹形で管理するといでしょう。

○愛宕柿は完全渋柿で「あわし柿」専用品種です。強樹勢で、直立性ですが、花芽分化が極めてよく、隔年結果が少ない豊産性です。

●結果習性と結果母枝のせん定

柿は1年枝（結果母枝）先端部の充実した数芽に花芽が形成され、春に発生した新梢上に花が着生します。花蕾の数は先端に近いほど多く、基部に近いほど花蕾は持たなくなりやすくなります（資料10）。○結果母枝を切り返すと花芽や花蕾数が確実に減少します。

○花芽数を多く確保したい時は、間引きせん定（1年枝の基部から切除する）のみとして、先端を切り返さない（枝の先端に花芽が着生するため、途中切りすると翌年実が成らない。枝だけ伸びて次年に花が着生する）。花芽数を減らしたい時は、間引きせん定に加えて切り返しせん定、枝の途中で切除する）を行います。また、干し柿（吊し柿）用に枝を付けて収穫する場合は、結果母枝の何割かは切り返しせん定し、あえて結実させない枝を予備枝として確保し、毎年安定した花芽着生と結実を図ります。

●側枝のせん定

○側枝には、主枝・亜主枝の側面から発生した枝を使います。下側（裏面）に出た枝は衰弱しやすい、上側（前面）に出た枝は強勢になりやすくなる。共によい側枝にはなりにくいです。○側枝の配置は、主枝・亜主枝の先端を頂点とした二等辺三角形になるよう基部は長い側枝を配置し、先端ほど小さな側枝を配置します（資料11）。

○側枝は、主枝・亜主枝の太さの1/3になったり更新します。成木では、側枝基部の直径が3cm以上になったら更新します。側枝が長くなったり、柿が着果すると重みで枝が下垂します。枝が下垂し、弓なりになった頂点へ発育枝（徒長枝）がふいてきます。その発育枝へ更新することで、枝が若返ります。長く太い徒長枝は切除するしかありませんが、樹が古くなると枝が先の方へ長くなり、高くなってくると管理が大変になります。充実した枝を出る枝や切り株から出る陰芽の充実した枝を更新枝として活用することが大切です。古い樹は、長くなった枝を株元へ近づけて出し直すことも考慮してせん定を行います（資料12）。

●せん定と日照条件

○日照不足になると枝が枯れたり勢いが弱るので、過繁茂は避けま。○樹冠全体（地上部）に日光が当たるような枝の配置が必要です。○間引きせん定を主体にして、結果母枝間隔はゆとりを持たせます。



昔ながらの黄ニラ味噌にぎり

材料 (3個分)

ご飯…………… 1合
黄ニラ…………… 30g
かつお節…………… 3つまみ

<調味料>

味噌…………… 大さじ6
酒…………… 大さじ1と1/2
みりん…………… 小さじ2
ごま油…………… 小さじ1と1/2
砂糖…………… 小さじ1と1/2

- ① 黄ニラを細かく切り、塩揉みする。塩揉み後、水気をしっかりとる。
- ② ごま油で味噌を炒め、酒、みりん、砂糖を加える。
- ③ 水分が飛んだら火を止め、黄ニラとかつお節を入れ混ぜる。
- ④ ラップにご飯を薄く広げ、③をのせて握る。

Point!

岡山の特産品である黄ニラを使用。黄ニラのシャキシャキとした食感と味噌のコクを生かしたおにぎりです。しそやのりを盛りつける、炙って食べるなど自己流のアレンジをして食べても◎

Instagram

あぐろ
グラム

編集後記

にこにこ岩

今回のあぐろグラムでは、玉野市渋川の王子が岳にある「にこにこ岩」について紹介いたします。

にこにこ岩は、渋川海岸に隣接しており、笑っているように見えることからそう呼ばれていて、人気の撮影スポットです。

にこにこ岩がある王子が岳は、他にもユニークな岩がたくさんあります。めずらしい岩をみつけてみてください。

編集担当 弘末彩香

